

# 1 道案内をしよう ～分かりやすく話す～

日常会話はだいたい理解でき、学習言語の能力が高まってきたとしても、授業での発言や人前でのスピーチ発表を苦手としている生徒は多い。また、「聞く」側に立ったときも、指導者や友達の話聞いていて、その話がよく分からない経験も多々ある場合がある。本単元は、第一学年の「話すこと・聞くこと」領域として位置づけられているものである。「分かりやすく話す」方法を学ぶことが中心である。一斉授業の展開の中で、同一教材を使いながら、JNLの生徒達には「話すこと」を中心に、JSLの生徒達には「聞くこと」を中心に、ともにその技能を高めることをねらいとする。

- 1 領域 話すこと・聞くこと
- 2 教材 「分かりやすく話そう」（「新しい国語1」東京書籍）
- 3 目標
  - ・伝えたい事を聞き手に分かりやすく話す
  - ・相手の伝えたいことを確かに聞き取る
- 4 指導時間 1時間
- 5 指導形態 在籍クラス（T・Tでの指導体制が望ましい）  
取り出しで行う場合には、「話す」ことを中心に行う
- 6 指導事項・言語スキル

領域	指導事項	言語スキル
話すこと・聞くこと	<b>【構成や論理】</b> ・全体と部分、事実と意見との関係に注意して、話したり聞き取ったりする。	・短く区切って話すことができる。 ・全体像を前に話すことができる。 ・項目を立てて話すことができる。 ・聞きながら何の話題かとらえることができる。 ・必要な情報を選んでメモをとることができる。
言語事項	<b>【話や文章、文】</b> ・話や文章の中の段落の役割や文と文の接続関係などを考えること。 <b>【言語生活】</b> ・話し言葉と書き言葉の違いについて理解し、適切に使う。	・敬体と常体を使い分けることができる。 ・文と文をつなぐ言葉を知り、適切に使うことができる。 ・話し言葉と書き言葉を区別して使うことができる。

## 7 指導計画

	学 習 活 動	伸ばしたい言語スキル	学習支援・指導・学習材
1 次	<p>〈文を短くして話す〉</p> <p>○2つの談話を聞き、どちらが分かりやすい話し方か考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2つの談話を聞く。</li> <li>・それぞれ何について話してるか考える。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どちらの談話が聞きやすかったか発表する。</li> <li>・その理由を考える。</li> </ul> <p>○話題メモを見ながら、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で談話を組み立てる。</li> <li>・他の人に聞いてもらう。</li> <li>・他の人の談話を聞き大切なことをメモをとる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何についての話題かを聞き取る。</li> <li>・2つの談話の内容をとらえる。</li> <li>・聞きながら、大切なことをメモする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短く区切って話す話し方について知る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話題メモの単語を組み合わせて、校内放送用の原稿メモを作成する。</li> <li>・聞きながら、大切なことをメモする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・談話の最初の部分に、何についての話題かが、提示されていることに気付かせる。</li> </ul> <p>★次の3点が記入している補助カードを用意して、それを見ながら聞き取れるように支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*誰が話しているか。</li> <li>*何について話しているか。</li> <li>*何を呼びかけているか。</li> </ul> <p>★文章の提示（聞き取りが困難な生徒に）</p> <p>2つの談話を文章化した、メモを渡し、読みながら聞き比べることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一文の長さに注目させ、短い文であることに気付かせる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話題メモは何種類か用意しておく。</li> <li>・2人1組で、話し手と聞き手に分かれて活動させる。</li> </ul> <p>★メモをとる方法をモデルを示しながら説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*全文を書く必要がない。</li> <li>*単語で書きとめる。</li> <li>*話の順番を変えない。</li> </ul> <p>★メモは母語でも日本語でもよい。</p>

	学 習 活 動	伸ばしたい言語スキル	学習支援・指導・学習材
	<p>○道順を電話で説明しているものを2つの談話を聞き比べる。</p> <p>・どちらが分かりやすいか。その理由はなぜか考える。</p>	<p>・どこからどこまでの道順を説明しているのか、聞き取る。</p> <p>・聞き比べてどちらが、分かりやすいか考える。</p>	<p>・聞きながら談話の組み立て方について相互評価をして、アドバイスをする。(JNL生徒)</p> <p>★聞く方を中心に活動させる。聞き取ったメモを話し手の話題メモと見比べながら、正確に聞き取れたかどうかを自己評価させる。聞き取れていない場合には、話し手側にも問題点があったことも考えられるので、再度、話してもらい、聞き取らせる。</p> <p>★地図を見ながら聞く。</p> <p>・スタート地点と目的地に印を付ける。</p> <p>・目的地が最後に出てくるAの文例だと分かりにくいことに気付かせる。</p> <p>★対象生徒の能力に応じて、必要な場合は文章を書いたメモを渡す。</p> <p>・全体像を最初に話す方法について知る。</p>
2次	<p>○道順を説明する。</p> <p>・最寄り駅から学校までの道順を説明する。</p> <p>○時間的な余裕があれば発展として</p> <p>・自分の家から学校</p> <p>・学校から近くの公共施設</p> <p>など別の道順を説明する。</p>	<p>・全体像を前に話すことができる。</p>	<p>★地図を見ながら話を組み立てさせる。目印の場所に印を付けたり、実際に歩く道順に→を書き込ませたりする。</p> <p>・初めに、距離や方向、所要時間などを説明する。</p> <p>・どこから説明するのか、スタート地点をはっきりする。</p> <p>・位置関係が明確になるように、目印や数字なども適切に入れる。</p>

	学 習 活 動	伸ばしたい言語スキル	学習支援・指導・学習材
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・順序や接続関係、位置関係を表す語彙の提示。</li> <li>・説明するための基本的な言葉を書いたカードを用意しておく。</li> <li>＊～あります。</li> <li>＊その前を通り～</li> <li>＊そこを</li> <li>＊まっすぐ行くと</li> <li>＊左手に</li> <li>＊右手に</li> <li>＊～が、〇〇です。</li> </ul>

### ◆聞き比べる談話の例

<p><b>A</b> 学級委員会からの連絡ですけれど、昨日の委員会で、スキー教室の話になって、実行委員会のメンバーは、学級委員になるんだけど、学級委員だけでは人数が足りないみたいだから、あと、7人募集するから、やりたい人は、今日の放課後、学年会議室に集合してください。</p>	<p><b>B</b> 学級委員会からの連絡です。昨日の委員会では、スキー教室の話がありました。実行委員会のメンバーには、学級委員がなっています。</p> <p>でも、学級委員だけでは人数が足りないそうです。あと、7人募集します。やりたい人がいたら、今日の放課後、学年会議室に集合してください。</p>
---	---

### 【補助カード】

T・Tや入り込みの指導者がいない場合の、学習支援の一つの方法として次のような工夫を心がけたい。資料1のメモと一緒に渡してもいいし、また、補助カードだけを最初に渡してもいい。対象生徒の能力に応じて使用したい。

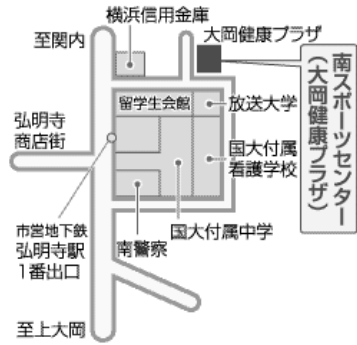
**ここが重要！**

- ☆だれが話していますか？
- ☆何について話していますか？
- ☆何を誰に呼びかけていますか？

【話題メモ例】

図書委員会の人へ  
本の整理  
午後3時  
筆記用具  
図書室  
集合

【使用する地図】



(参考：横浜市南スポーツセンターHPより)

【道順説明の談話のメモ】

<p><b>A</b></p> <p>駅をでると大きなとおりがあるので、そのままその横を通ってまっすぐ、すこしいくと、留学生会館があって、その信号をわたって、右に曲がって、銀行の横を通って、まっすぐいくと、南スポーツセンターにつくよ。</p>	<p><b>B</b></p> <p>南スポーツセンターは、弘明寺駅の北側にあります。歩いてほしい5分くらいです。</p> <p>まず、地下鉄の1番出口から地上にあがってください。鎌倉街道沿いに、留学生会館方面に歩いてください。看板が見えるので分かると思います。留学生会館と銀行のところにある信号を右に曲がってください。そのまま、まっすぐに歩くとスポーツセンターの看板が見えます。</p>
---	--

【使用するカード例】

・～があります。      ・その前をとおり～      ・まず  
 ・そこを              ・まっすぐ行くと      ・そうすると  
 ・左手に              ・右手に                  ・～が、〇〇です。

